

地方経済情報 Weekly No.411

フランスの消費者へ球磨焼酎をPRしました！

1. 球磨焼酎のフランス販路拡大事業

当研究所は2020年から肥後銀行と共同で球磨焼酎の海外販路開拓プロジェクトに取り組んでいます。その一環で昨年10月中旬、蔵元とともにフランスへ渡航しました。先週の「地方経済情報 Weekly No.410」でお伝えしたパリでの試飲商談会の後は、織月酒造も合流し、フランス中東部ブルゴーニュ地方のディジョンメトロポール^{※1}で初開催された「ジャパンウィーク」へ出展して現地の一般消費者へ向けた試飲会を行いました。

2. 熊本県とディジョンとの交流促進

昨年10月20日、熊本県とディジョンメトロポールは、国際交流促進に関する覚書(MOU)を締結しました。覚書では、ガストロノミーに代表される食文化や食品産業、観光、発酵分野などの学術研究等の分野で交流を促進することとしており、締結をきっかけに交流を深め地域の発展につながることを期待されています。そのキックオフとして、「ジャパンウィーク」で熊本の食材などをPRすることとなり、当研究所も蔵元とともに球磨焼酎を出品しました。

3. ジャパンウィークで大きな注目を集めた「球磨焼酎」

球磨焼酎は10月18日～22日の5日間、無料の試飲ブースを出展したほか、地域住民や学生向けに3回のセミナーを開催しました。大日本印刷(株)の運営協力のもと、一連のイベントの参加者は1,000人を超えました。試飲ブースに常時4種類の焼酎を用意し飲み比べを勧めたところ、香りが複雑な商品が好まれる傾向が分かりました。来場者の多くが歴史的・文化的な側面も含めて関心を持ち、詳しい製造方法や、日本でどう飲まれているのかを尋ねていました。フランスの一般消費者から良い反応を得て、今後の交流に期待できる結果となりました。

当研究所は、地域製品のブランディングや販路拡大などをはじめ、事業者の皆様と地域経済への包括的な支援を行い、持続可能な社会づくりへ向けた取組みを進めてまいります。

※1：ディジョン市を中心とした23の自治体で構成される自治体連合。2017年設立。人口約26万人。

当研究所の球磨焼酎支援の取組みはこちら <https://www.reri.or.jp/shochu/>



(図1) ディジョンはパリから南東へ250km、高速列車で約1時間30分の都市です



(Google Mapsより作成)

(写真1) 来場者は球磨焼酎を飲み比べて香りや味の違いを楽しんでいました
(撮影日：2023年10月20日)



(会場：Cite Internationale de la Gastronomie et du Vin、写真はすべて当研究所撮影)

(写真2) ブルゴーニュワインを販売しているカーヴをセミナー会場として使用しました
(撮影日：2023年10月21日)



担当：研究員 古田 千智